

人間と医療

2011年 創刊・第1号

巻頭言

- 「人間と医療」 発刊にあたって
 —疼痛とモルヒネ体験— 藤野 昭宏1

論文

1. ヒトゲノム情報の定義をめぐる概念的考察
 —ゲノム創薬における利益の共有の倫理的根拠— 西田 晃一3
2. 自閉症者における「共感」の現象学的考察
 —ある自閉症者の手記をとおして— 眞次 浩司14
3. ACP（事前ケア計画）としての事前指示
 —患者意思の「共有プロセス」を支える臨床倫理サポート— 板井 孝亮郎22
4. 生命倫理問題の見取り図試論 高橋 隆雄32
5. 尊厳の変容 —卓越、価値そして自尊へ 永嶋 哲也40
6. 看護の専門的役割についての一考察
 —澤瀉久敬の「看護婦の医道」をふまえて— 永田 まなみ50
7. 「病の文学」を読む意義
 —他者理解の可能性と生命の連帯性—（1） 前田 義郎61
8. 本邦の着床前診断臨床適用拡大の動向および
 その今後の方向性と課題に関する所見 児玉 正幸71

寄稿論文『第1回九州医学哲学・倫理学会 特別講演』

- 姿勢としての倫理
 行為の倫理と徳倫理の狭間で 清水 哲郎78

その他

- 第1回 九州医学哲学・倫理学会学術大会プログラム（2010年）84